

問1 国民の社会保障や福祉サービスを充実させる一方、その財源を確保するために税金や社会保険料などの国民負担が大きくなるような政府のあり方を何と呼びますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

1. 自由放任主義（レッセ・フェール）
2. 大きな政府
3. 夜警国家
4. 小さな政府

問2 鎌倉幕府が国ごとに設置し、謀反や殺人などの犯罪人を取り締まる警察・軍事的な職務を担った役職は何ですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)

1. 老中
2. 守護
3. 摂政
4. 管領

問3 ヨーロッパ諸国の経済指標をまとめた資料において、一人あたりの国民総所得（GNI）が2万ドルに満たない国の多くが2004年以降にEUへ加盟した国々であるという特徴が見られます。このような加盟国間の経済格差によって生じている事象として、最も適切なものはどれですか。

(2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 経済水準を一定に保つため、2004年以降に加盟した国々に対しての、EU域内での関税が特別に課されている。
2. 加盟国間の格差を是正するため、所得の高い東側の新興加盟国から、経済の低迷する古い加盟国へと巨額の補助金が流れている。
3. 一人あたりの国民総所得が低い国々は、EU独自の共通通貨であるユーロの導入を制度上一切認められていない。
4. 賃金水準の差を背景として、2004年以降の加盟国から、比較的所得の高い西側の加盟国へと労働力が移動している。

問4 北極点を中心とした地図において、アメリカ合衆国の中央部を通過する西経100度の経線から見て、北極点を挟んでちょうど反対側に位置する経線について説明した文として、正しいものを選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)

1. インド付近を通過する東経100度の経線
2. 中国付近を通過する西経80度の経線
3. ヨーロッパ付近を通過する東経80度の経線
4. インド付近を通過する東経80度の経線

問5 2万5千分の1地形図において、特定の地区に存在する公共施設の種類を調査しています。地図上で「+」の記号で示される施設と、「×」の記号で示される施設について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 「+」は市役所などの官公庁を指し、「×」は消防署を指す。
2. 「+」は保健所を指し、「×」は郵便局を指す。
3. 「+」はキリスト教の教会を指し、「×」は学校を指す。
4. 「+」は病床を持つ病院を指し、「×」は警察署や交番を指す。

問6 日本からアメリカ合衆国のシカゴまで最短距離で移動する際、経路は北極に近いアラスカなどの高緯度地域の上空を通過します。この経路付近の地上で見られる、亜寒帯（冷帯）の景観や人々の暮らしに関する説明として正しいものはどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)

1. 地表面が常に氷や雪に覆われており、樹木が全く育たないため、農業を行うことは不可能である。
2. 厳しい冬の寒さに耐えることができる針葉樹の森林が広がり、その木材を利用したパルプ工業などが行われる。
3. 一年中強い日差しが降り注ぎ、午後の激しい雨によって成長した巨大な常緑広葉樹が密集している。
4. 夏に雨がほとんど降らないため、地下水路などを利用して乾燥に強い農作物を育てる工夫が見られる。

問7 平清盛が推進した日宋貿易が、当時の日本社会に与えた経済的な影響に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)

1. 中国から大量の宋銭（銅銭）が輸入され、国内の貨幣経済が広まるきっかけとなった。
2. 勘合符を用いることで、倭寇（海賊）による密貿易を厳しく制限し、幕府の財政を安定させた。
3. 日本から象牙や香料を輸出し、引き換えに鉄砲やキリスト教の布教を認める条約を結んだ。
4. 朝廷が貿易を独占したため、地方の武士が経済的に困窮し、平氏打倒の機運が高まった。

問8 三権分立の仕組みにおいて、司法権を担当する裁判所が立法権を担当する国会に対して行う抑制（チェック）の手段として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)

1. 不適格な裁判官をやめさせるための弾劾裁判所の設置
2. 国会の活動を停止させるための国会解散要求
3. 政治の責任を問うための内閣不信任の決議
4. 法律が憲法に適合しているかを審査する違憲審査権の行使

問9 1960年と2000年代後半の日本の国内輸送を比較したとき、旅客輸送（億人km）と貨物輸送（億トンkm）の推移について共通して述べられる状況として、正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 旅客の輸送量は増加したが、産業構造の変化によって貨物の輸送総量は1960年よりも減少している。
2. 貨物輸送において、1960年当時は航空機が輸送の主役であったが、現在は船舶がその役割の大部分を担っている。
3. 旅客・貨物ともに、1960年当時に最も高いシェアを占めていたのは自動車であり、現在は鉄道がその役割を代替している。
4. 旅客・貨物ともに輸送の総量は1960年より大幅に増加しており、旅客では航空機の、貨物では自動車の役割がそれぞれ大きくなっている。

問10 江戸時代の大阪は、全国の物資が集まる物流の中心地として発展しました。諸藩が領地から運び込んだ年貢米や特産物を保管・販売するために、大阪の川沿いに設けた施設を何といいますか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)

1. 蔵屋敷
2. 札差
3. 株仲間
4. 問屋

問11 江戸時代、老中の田沼意次は幕府の財源を確保するため、これまでの年貢増徴に頼る方針から、商業や貿易を活性化させる方針へと転換しました。この政策の中で、新たな領土の資源開発や、当時南下政策を進めていたロシアとの交易の可能性を探るために計画されたことは何ですか。

(2022年 岩手県公立入試 類似)

1. 朱印船貿易による東南アジアへの進出
2. 蝦夷地の調査と開拓
3. 異国船打払令による沿岸警備の強化
4. 琉球王国を通じた清との密貿易

問12 地方公共団体の財政において、都市部（千葉県など）と地方部（山形県など）の歳入構成を比較したとき、地方部において「地方交付税交付金」の占める割合が高くなる理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)

1. 人口や産業の偏りによって生じる地方税収入の格差を埋め、必要な行政サービスを維持するため
2. 都市部よりも地方部の方が、住民一人あたりの所得水準が高く、納付される税金が多いため
3. 特定の公共事業や義務教育の費用として、国が使い道を細かく指定して資金を補助するため
4. 地方自治体が不足する資金を補うために、金融機関や国から一時的に借金をするため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 大きな政府	政府が経済や社会保障に積極的に介入し、所得の再分配を行うことで国民生活の安定を図る仕組みを指します。1929年の世界恐慌以降、失業者の救済や景気回復を目的として多くの先進国で取り入れられるようになりました。
問2	答え 2 守護	鎌倉幕府によって国ごとに設置され、謀反人や殺人犯の逮捕など警察・軍事的な職務を担当した役職は守護です。管領は室町時代の幕府の役職、老中は江戸時代の役職、摂政は飛鳥時代や平安時代などに天皇を補佐した役職です。
問3	答え 4 賃金水準の差を背景として、2004年以降の加盟国から、比較的所得の高い西側の加盟国へと労働力が移動している。	2004年以降に加盟した国々と、それ以前の加盟国との間には大きな経済格差（所得格差）が存在します。EU域内では人の移動が自由であるため、より高い賃金を求めて東側の新しい加盟国から西側の古い加盟国（ドイツやフランスなど）へと労働者が移動する現象が活発になりました。これは、送り出す側の労働力不足や、受け入れる側での摩擦など、現在のEUが直面する重要な課題の一つとなっています。
問4	答え 4 インド付近を通過する東経80度の経線	経度は本初子午線（0度）から東回りと西回りにそれぞれ180度まで設定されています。ある経線のちょうど反対側に位置する経線を求めるには、180から元の経度を差し引きます。この問題では、西経100度の反対側は「180－100＝80」となり、西経の反対である「東経80度」が導き出されます。この経線は南アジアのインド付近を南北に貫いています。
問5	答え 4 「+」は病床を持つ病院を指し、「×」は警察署や交番を指す。	国土地理院の地形図において、病院の記号は「+」で表されます。これはかつての陸軍病院の記号に由来しており、現在は一定以上の規模を持つ病院に使用されます。一方、「×」は警察署や交番を表す記号で、2本の警棒を交差させた形に由来しています。これらは地形図から地域の公共サービス環境を読み取る際の重要な指標となります。
問6	答え 2 厳しい冬の寒さに耐えることができる針葉樹の森林が広がり、その木材を利用したパルプ工業などが行われる。	東京とシカゴを最短距離（大圏航路）で結ぶと、アラスカなどの高緯度地域を通過します。これらの地域は亜寒帯（冷帯）に属しており、タイガと呼ばれる針葉樹の森林が特徴的です。この豊かな森林資源は、住宅の建材やパルプ（紙の原料）として利用され、地域の重要な産業となっています。樹木が全く育たないのは、さらに北の寒帯（ツンドラ気候や氷雪気候）に見られる特徴です。
問7	答え 1 中国から大量の宋銭（銅銭）が輸入され、国内の貨幣経済が広まるきっかけとなった。	平清盛は日宋貿易を通じて宋（中国）から大量の銅銭（宋銭）を輸入し、これを国内に流通させることで、それまでの物々交換を中心とした経済から、貨幣を用いた経済への転換を促しました。これにより平氏一門は莫大な富を蓄え、政治的な地位を強固なものにしました。なお、勘合符を用いる貿易は室町時代の足利義満によるものであり、鉄砲やキリスト教が伝来したのは戦国時代のことです。
問8	答え 4 法律が憲法に適合しているかを審査する違憲審査権の行使	三権分立において、裁判所（司法）は国会（立法）が制定した法律に対して違憲審査権を行使し、権力の集中や憲法違反を防ぐ役割を果たします。内閣不信任の決議や弾劾裁判所の設置は国会が行う権限です。
問9	答え 4 旅客・貨物ともに輸送の総量は1960年より大幅に増加しており、旅客では航空機の、貨物では自動車の役割がそれぞれ大きくなっている。	日本の経済規模の拡大にともない、人（旅客）とモノ（貨物）のどちらの輸送量も1960年に比べて大きく増加しました。輸送手段の内訳を見ると、旅客では高速移動が可能な航空機や、利便性の高い自家用車が普及しました。また、貨物輸送においても、かつての中心だった鉄道や船舶から、戸別配送（ドア・ツー・ドア）が可能なトラックなどの自動車へと主役が移り変わっています。
問10	答え 1 蔵屋敷	諸藩は財政を支えるために、自領で収穫した年貢米や各地の特産物を大阪へ運び込みました。これらを管理・売却するための拠点として設置されたのが蔵屋敷です。大阪は水運が発達していたため、多くの蔵屋敷が川に面して立ち並び、効率的な荷揚げが行われていました。
問11	答え 2 蝦夷地の調査と開拓	幕府の深刻な財政難を解消するため、田沼意次は商業資本を利用した積極的な経済政策を展開しました。その一環として、工藤平助による『赤蝦夷風説考』などの提言を受け、北方にある蝦夷地（現在の北海道など）に役人を派遣しました。そこでの鉱山開発や、ロシアとの貿易ルートの確立によって、新たな収入源を得ようとしたのがこの政策の背景です。
問12	答え 1 人口や産業の偏りによって生じる地方税収入の格差を埋め、必要な行政サービスを維持するため	地方交付税交付金は「地方財政の調整」と「財源の保障」という二つの役割を担っています。企業や人口が集中する都市部は地方税を多く確保できますが、そうでない地域では十分な税収が得られません。そこで、国が一旦税金を集め、その一部を地方公共団体の財政力に応じて配分することで、日本国内のどこに住んでいても教育や福祉などの公的なサービスを等しく受けられる仕組みになっています。